

👉 **G A P の取組**
(個別認証)

農家とダイレクト株式会社

GLOBALG.A.P.

ピーマン

<基本情報>

所在地：宮崎県西都市大字清水 5 6 - 3

従業員：7 名（正社員3名、期間雇用（1月～6月）2名、パート(通年)2名）

<農場概要>

栽培面積：施設野菜95a（ピーマン95a（GAP認証：ピーマン））

水稲 1 5 0 a

<経営理念>

地域の食文化を維持・発展させるための農業活動を行い独立自尊の人間を育成し、環境 社会に貢献する。



<G A P の取得のきっかけ>

- 社員に対する衛生管理の意識向上や作業のマニュアル化に向けた基盤作りとともに、今後のGAP認証生産物の流通量の増加（スタンダードとなる可能性）を見据えて、**2018年、GLOBALG.A.P.**を取得。

<GAP認証取得で苦労したこと>

- 認証取得に伴う経費負担
 - ・ 認証取得のための設備等に経費を要し、補助金を活用しても大きな負担となった。
- 従業員への周知徹底
 - ・ 点検内容と作業手順の周知と理解に時間を要した。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 従業員の意識向上と作業の効率化
 - ・ 作業ルールを定めたことによる効率的な作業と従業員の自主性が向上
- リスク管理の徹底
 - ・ 医薬品の保管場所もマニュアル化したことにより作業中の怪我への対応が迅速化
- 経費削減
 - ・ 保管庫の整理や記録簿の管理による農薬や資材費の削減



農家とダイレクト 株式会社
<http://noka-direct.shop-pro.jp/>

👉 **G A Pの取組**
(個別認証)

し い
有限会社 四位 農園

GLOBALG.A.P.

ほうれんそう、えだまめ、ごぼう
こまつな、ケール

<基本情報>

所在地：宮崎県小林市野尻町三ヶ野山 3 0 2 8

従業員：160名

<農場概要>

栽培延べ面積：365ha（ほうれんそう200ha、えだまめ100ha、ごぼう30ha、こまつな30ha、ケール5ha）

<目指すところ>

「食の安全リスクの低減」「労働安全」「環境保全」「生態系の維持」の実践を通しての「食の安全と持続可能な生産管理」



<G A Pの取得のきっかけ>

社内での圃場の管理基準としてGAPを活用するため、
2009年にGLOBALG.A.P.を取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

- 農業生産工程管理の徹底
 - ・従業員の一日の作業の流れの明確化
 - ・栽培管理、農薬等の受け払いの記録保持
- 労働環境の整備
 - ・休憩室、トイレの改修・整備等



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- コスト削減
 - ・整理整頓や農薬等の在庫管理を記録することにより無駄な購入等が減少。
- 事故防止
 - ・毎日の朝礼で、作業手順や注意点の確認。
 - ・毎月1回、全従業員で機械の点検を行い、トラブルを未然に防止。



👉 **GAPの取組**
(団体認証)

J A児湯 ティーファクトリー

ASIAGAP

緑茶（生葉、荒茶）

<基本情報>

所在地：宮崎県児湯郡高鍋町（団体事務局：J A児湯）

栽培面積：約55ha（20農場が参画）

【経営理念】：法令を順守した生産活動及び安心・安全なお茶の供給を目的とした主体的運営かつ継続的改善を目指す。



<認証取得のきっかけ>

○納入先からの要望のほか、「事故を起こさない仕組」を作り、安全・安心なお茶を提供するため。

⇒ **H27.12月 J G A P 取得**

○更なるみやざき茶の生産管理技術の高さの証明及び販路拡大のため

⇒ **H30.10月 A S I A G A P 取得（宮崎県内初（団体認証））**

<GAP認証取得で苦労したこと>

○関係書類の作成

生産履歴の記入・管理

圃場毎の管理が煩雑（圃場が分散）
マニュアルの共有に時間を要した

○生産者への周知（意識改革）

「GAPをする」の意識付けに時間を要した

○生産・労働環境の整備

防虫対策、小動物の進入対策 等
（より効率性のある対策を検討）



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆取引先への有利販売

- ・産地としての信頼確保
- ・海外ニーズへの対応 ⇒ 輸出への備え
- ・国際的なGAP認証プログラムG F S I（世界食品イニシアティブ）承認により販路拡大へ弾み

◆生産者の意識が向上

- ・食品・労働安全、環境保全に対する意識向上
- ・チーム制の導入
生産者同士で安全対策や作業ルール等の遵守についてチェック。不適合があれば班ごとで改善を行う。

◆明確な目標が持てた

- ・共通の生産工程管理ができたことにより、互いに協力でき、生産者同士の関係が深まった。



良品質なお茶の生産

(連絡先)0983-23-6335



👉 **GAPの取組**
(団体認証)

株式会社 ジェイエイフーズみやざき

GLOBAL G.A.P.

ほうれんそう

<基本情報>

所在地：宮崎県西都市大字南方3398番地2

従業員：138名（役員2名、職員27名、パート109名）

GAP認証品目：ほうれんそう（契約生産農家62戸、栽培面積約94ha、収量約2,700t）

【基本理念】活力ある農業・農村を創造し安全な食を通して国民の健康と幸せを願い自然と調和のとれた元気な宮崎づくりを目指す。



<GAPの取得のきっかけ>

- ・ 全契約農家の栽培管理の徹底、生育把握が必要
 - ・ 国産冷凍野菜の販売先拡大のための付加価値を付ける
- ⇒ **H30.5月 GLOBAL G. A. P 団体認証取得**
(宮崎県内JAグループ部会組織での取得第1号)

<GAP認証取得で苦労したこと>

- ◆ 契約農家への周知徹底
 - ・ 周知や意思統一に時間を要した
 - 「面倒くさい・難しい」という農家の意識
- ◆ 認証取得に伴う経費負担
 - ・ 既存の生産管理システムの再構築
 - 対外的に評価される基準に対応するための必要な経費

「ジェイエイフーズの取り組む機械化一貫体系」



すべての工程を「フィールドコーディネーター」が進捗管理

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆ 契約農家の意識向上
 - ・ 「GAPをする」の意識付け（「5S（「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ）」の実践」「効率化」「コスト削減」）など
 - ◆ 経営の効率化
 - ・ 契約農家ごとの生産・収穫管理がより正確に実施可能に
 - ◆ ※フィールドコーディネーターによる現地確認作業が軽減（※圃場や生産者を巡回する職員）
 - ・ 契約農家によるグローバルGAP基準の栽培管理の徹底
 - ◆ 国際基準に基づく農産物の供給が可能に
- ⇒ **今後は輸出も視野に！**

<問い合わせ先等>

TEL：0983-43-5351

HP：<http://www.jafoods-miyazaki.jp/>



👉 **G A Pの取組**
(個別認証)

白園自製 川 越 製 茶

JGAP

緑茶(生葉・荒茶)

<基本情報>

所在地：宮崎県宮崎市田野町

栽培面積：茶4ha（品種：さえみどり、やぶきた他）、大根2ha、水稻0.2ha

労働力：家族3名（本人・妻・母）、期間パート4名

【経営理念】（川越製茶のこだわり）

自園自生による安心・安全なお茶を生産し、消費者に届けること



(川越社長)

<G A Pの取得のきっかけ>

「持続的農業に共感」⇒G A Pを目指す

2017年4月 J G A Pを取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

○認証取得までの準備

◆意識改革

- ・意識づくりや決め事の徹底
(G A Pに取り組む意味の徹底)

◆労働環境の整備

- ・作業施設の整理整頓
- ・リスク要因の洗い出し

◆関係書類の作成

- ・マニュアルの作成

◆認証取得に伴う経費負担

- ・設備の改修経費等



(道具置き場)



(農薬保管庫)

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆取引先の信頼確保

- ◆従業員の意識の変化 ⇒ 品質の向上
 - ・作業確認や打合せが増え、作業が効率化した。

◆整理整頓、在庫管理の徹底

- ・整理整頓が徹底され、作業効率も向上
- ・資材の在庫管理で無駄な支出が減少



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

(株) オーチャードイワマン

GLOBALG.A.P.

マンゴー

<基本情報>

所在地：宮崎県宮崎市大字柏原814-5

構成員：7名（役員1名、従業員2名、アルバイト4名）

栽培面積：マンゴー 50a（ハウス5棟）

【経営理念】

農業経営及び農場管理において、①安全で高品質な農産物の生産、
②環境負荷の少ない生産、③安全で健康的な労働を実現する。



<GAP認証取得のきっかけ>

○海外のブランディング確立のヒントを求め、GLOBAL G.A.P協会の方とヨーロッパ研修に参加したことにより、
GAPの必要性を感じた。

○宮崎県産のマンゴーで初めてGLOBALG.A.P認証取得。

⇒令和元年7月 GLOBALG.A.P個別認証取得

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○農業生産・農産物販売活動のマニュアルを作成し、
従業員と共有できた。

○構成員各々が役割分担することで、
責任を持って取り組むようになった。

○作業内容等のデータ化により、作業
の効率化、経費の節約に繋がった。



「今後の意向」

○GLOBALG.A.Pのノウハウを活かし、適正農業をより充実
させ商品価値を高める。

○自社**マンゴーの世界規模でのブランディング確立と輸出
も含めた販路拡大。**

○ホームページを活用した**通信販売の拡大**や**冷凍マンゴー
の商品化。**



<GAP認証取得で苦労したこと>

○製造レベル（生産～出荷）の形態での
農業から販売までを行うことにより、
GLOBALG.A.P 認証取得までには、
コンサルタントからの改善指導を受け
ながら取り組んだ。



<問合せ先>

TEL : 090-3073-8346

<https://www.orchardiwaman.com>

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

長 友 み か ん 農 園

GLOBALG.A.P.

かんきつ（せとか）・きゅうり

＜基本情報＞

所在地：宮崎県宮崎市清武町

構成員：正社員1名、パート13名（最盛期、変動有り）

栽培面積：0.85ha（内、ハウス30棟）

※せとかは赤橙色の果皮、糖度は13度～14度と甘みが強い柑橘

【経営理念】

消費者と直接向き合う、安全・安心な農産物の提供



＜GAP認証取得のきっかけ＞

○就農前はISOに関わる仕事を行っており、農業においてもGAPの取組は必要であると判断。

【GLOBALG.A.P.取得のきっかけ】

○将来的には輸出も視野に入れ、国際的にもメジャーなGAP取得を考えた。

GLOBALG.A.P.認証取得 ⇒ 2016年2月

＜GAP認証取得（更新）で苦労したこと＞

○パートへのGAPの説明

○認証（更新）に関する審査費用が高額である。

＜問合せ先＞

TEL 080-4485-3332

<https://www.nagatomonouen.com/>

＜GAP認証取得による効果や改善されたこと＞

○栽培管理の徹底により農薬の散布量が減り、

労働時間の短縮や経費削減に繋がった。

○農業資材等の整理整頓により**作業効率が上がった**。

○農作業のマニュアル化によりパート従業員の**作業効率の向上と安全な農作業**に繋がった。



＜今後の意向＞

○現在のみかん農園を株式会社化し、輸出にも取り組んで行きたい。



合同会社オーガニックファームZERO

ASIAGAP

人参・ばれいしょ

<基本情報>

所在地：宮崎県児湯郡新富町
 構成員：正社員4名、パート3名
 栽培面積：5.5ha
 ※2008年有機JAS認証取得



【経営理念】

安全安心な食の供給の担い手として、また持続可能な環境保全型農業の実践者として、農業を通じて、社会・地域に貢献します。

<GAP認証取得のきっかけ>

○ 世間で、安全・安心の関心が高まる中で、自信をもって農産物を消費者へ届けるためには、**有機JAS以外にも、明確な基準を持つ認証が必要**であると思った。



【ASIAGAP取得のきっかけ】

○ **海外への販路拡大**も視野に入れていたため、GFSI承認の国際規格であるASIAGAPを取得した。
ASIAGAP認証取得 ⇒ 2020年4月
 ※GFSIとは、グローバルに展開する小売業者・食品製造業者等が集まり、食品安全の向上と消費者の信頼強化に向け発足した組織

<GAP認証取得（更新）で苦労したこと>

- 申請の書類作成が大変。
- 認証（更新）に関する審査費用が高額。

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 「安全・安心ナンバーワン」の農家を目指しており、GAPの認証取得は、**目標達成のための明確な基準**となった。
- 従業員の意識改革により、**農作業事故の未然防止**や、**作業効率向上**に繋がった。



<今後の意向>

これまで以上に「食の安全・安心」を消費者に届けていきたい。
 ※令和3年6月に「有機米農家 おにぎり宮本」を開店。



〈問合せ先〉

TEL 0983-33-3450

<https://www.organicfarmzero.com>